

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 3

5月18日

平成25年5月25日発行

発刊元：塾塾出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

創刊号

雑談を制する者は 人生を制する！

「出会いの時に祝祭に」する秘訣を学ぶ

この日を待ちわびていた方も多かったのではないだろうか。広報に掲載されてから1日で定員に達してしまった本日の講演。講師は明治大学教授・齊藤孝氏である。コミュニケーションの専門家である齊藤氏の今回のテーマは「つながりを育む雑談力」だ。

300人もの人で埋め尽くされた満員の会場に齊藤氏が現れた。テレビでもよく拝見するお顔。だが意外、演台を飛び出し(?)舞台狭しと動き回るその姿は、大学教授を超えた熟練のパフォーマーのようだ！その動きとともに、講演の内容も、参加者をまったく飽きさせない。

雑談力は「つながり力」である。そのポイントは、まずは「沿いつつずらす」こと。相手の思いにまずは沿って話し、話を変えていく。次は「あいさつ+α」。あいさつに必ずひとことつけ加えること。仲良しの人と話すのではなく、誰とでも話せることが雑談力である。そのためには、自分の好きなものを増やしていくこと、それにより人とつながることが多くなる、そんな雑談力アップの秘訣が次々と挙げられた。

最後は参加者全員での雑談トレーニングを実施。実践は重要！会場全体に響き渡った雑談パワーは感動さえ覚えるものであった。

終了後の参加者の方の笑顔とアンケートの結果をみると、まさに「祝祭の出会い」だったようだ。個人的に印象深かったのは、齊藤氏が話した「雑談力の『力』」は、トレーニングをすることを意味しています。」ということ。雑談も仕掛けて鍛えられていくものなのだ。雑談の他にも「〇〇力」が必要なものがいっぱいあるなあ・と痛感した筆者であった。(記事：湊)

参加者の反応は？

●話の内容が固くなく、大変面白かった。雑談なんて…と今まで思っていたが、とても大切なことに気づいた。これからのコミュニケーションに役立てたいと思う。 ●普段何気なく話していることは、雑談力を高めるという事がわかって楽しかった。 ●他人と話すことができるアイデアが多く、参考になった。仕事にも使えそう。 ●実技もあり、一方通行でないのがよかった。 ●雑談力・上機嫌の作法の必要性が改めてわかった。 ●自分が講座を聞く時にも、唱和する事を取り入れたいと思ったが…腕がないと…。 ●二人一組になって話した実践が楽しかった。好きなものを前もって知っておくと会話ははずむことが実感できた。(アンケートより抜粋)

大人塾を支える「おとな」たち

みなさんの学び・気づき・活動に適切なアドバイスと講座の進行・運営を行う学習支援者をご紹介します

広石 拓司♂(土曜コース)

大阪府出身。三菱UFJリサーチ&コンサルティング、社会起業家育成支援のNPO法人ETICを経て、(株)エンパブリックを設立。幅広い人が社会活動を充実させるための資源発掘、人材育成、仕組みづくり、運営支援などのトータルサポートを行う。慶応義塾大学総合政策学部非常勤講師。

松田 道雄♂(月曜コース)

山形県出身。元中学校教員、高千穂大学教授を経て、現東北芸術工科大学総合美術コース教授。全国に広がる「だがしや楽校」の発案者。主著『だがしや楽校のスズメ』、『輪読版 駄菓子屋楽校』、『関係性はもう一つの世界をつくり出す』など。

谷原 博子♀(月曜コース)

福岡県出身。FM福岡のアナウンサー、長崎国際テレビのキャスターに加え番組制作のディレクターとしても活躍。現在は杉並区の学校地域コーディネーターをつとめ、また自然災害・危機管理等のドキュメント取材を中心にフリーアナウンサーとしても活動中。

大人塾のメイン
キャラ
カシガモちゃん



◆すぎなみ大人“熟”してる？の発行にあたって◆

この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊・相山の独断と偏見と事実に基づき作成しております。